

# JAきみつの概況

ディスクロージャー誌 2026

## — 抜粋内容 —

1. 事業の概況（2025年度）
2. 農業振興活動
3. 地域貢献情報

## 1. 事業の概況（2025年度）

### 概況

令和7年度は、インバウンド需要が引き続き堅調で、観光や消費活動が地域経済を支える一方、世界的なインフレの継続やウクライナ、中東情勢の不安定化など国際環境等の影響によって、エネルギーや食料、資材価格は依然として高止まりしました。

国内では賃上げの動きが広がり雇用環境は改善傾向にあるものの、農業分野では高齢化や担い手不足、気候変動による自然災害が深刻な課題として残されています。

こうした状況の中、最終年度となる「第六次農業・地域振興計画」そして、初年度となる「第九次経営刷新3カ年計画」を実践し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現と、総合事業による「持続可能な農業・地域・事業・経営基盤の確立」を目指して事業を展開しました。

### 信用事業

信用事業においては、個人貯金キャンペーンや年金・給与振込口座獲得運動を継続し、総貯金残高は1,967億2千万円（達成率98.1%）、個人貯金残高は1,791億6千万円（達成率98.3%）となり、計画を下回る結果となりました。貸出金残高は農業融資や生活支援ローンを中心に組み組んだ結果、347億6千万円（達成率99.7%）と目標には届きませんでした。また、投資信託は、NISA口座の普及や株価上昇等の影響と資産運用ニーズの高まりによって、残高は7億2千万円（達成率103.2%）と目標を達成し、組合員資産形成の支援と拡充を図ることができました。

### 共済事業

共済事業では、コンプライアンス態勢の徹底と、組合員・利用者へのニーズ喚起や証券回収運動、3Q訪問「ひと・いえ・くるま・農業」での提案活動を強化した結果、目標達成率は88.7%（前年比113.2%）となり、令和6年度実績を上回りました。

### 農業関連事業

販売事業では、令和6年度に続き米価の高止まり傾向が継続しました。また、猛暑による収穫量・品質の低下や在庫不足、生産コスト上昇といった構造的な要因が依然として影響し政府による備蓄米の放出で一定の抑制は見られたものの、市場価格は高水準で推移しました。その結果、米の販売実績は前年を上回りました。野菜や花卉については、高温障害の影響を受けたものの、栽培技術の改善や契約販売の拡大によって、買取販売高は前年を上回り、目標を達成しました。

購買事業は、購買品供給拡大への取り組みに加え、米価高騰によって農機具需要の高まりによって大きく伸長しました。

### 生活関連事業

燃料事業では、原油価格が高水準で推移したものの洗車やタイヤ販売など油外商品の拡充を継続したことや、LINE登録、割引ポイントキャンペーンなどによって、取扱量は前年を上回る成果を収めました。

## 教育・広報

J A広報誌「みずき」はJ A事業や身近な情報、地域のニュース等を提供し、より親しみやすい紙面作りに努めました。また、食の安全・安心に関わる情報、農業・J Aの将来を左右する農政課題等を明確に伝える為、家の光と日本農業新聞の積極的な普及活動に取り組みました。この結果、年度末の購読部数は家の光499部（普及率5.10%）、農業新聞503部（普及率5.14%）となりました。

## 損益

当組合の財務状況について、令和7年度の事業計画及び「第六次農業・地域振興計画」、「第九次経営刷新3カ年計画」の実践に取り組んだ結果、事業実績は概ね順調に推移しました。

しかしながら当年度の決算においては、保有有価証券について金利上昇局面における時価下落の影響を受け、評価損が拡大したことから、農協法に基づく出資配当制限に抵触する可能性が見込まれる状況となりました。

今後の経済・金融情勢の見通し等を慎重に総合判断し、次年度以降においても評価損の拡大が懸念されたため、運用効率の改善及び財務基盤の安定化、経営健全性の確保を目的として、保有有価証券の一部を売却し、13億1千万円の有価証券費用を計上しました。

このため、事業利益は△9億3千万円となり、経常利益は△8億1千万円、当期剰余金は△6億2千万円となりましたが、経営安定化積立金8億円の取り崩しを行い、当期末処分剰余金は4億3千万円となりました。

厳しい決算内容となりましたが、健全性を示す当期の自己資本比率は、12.00%を確保し、J Aバンク基本方針で定める8%を超えており、その他の財務比率も規制上のルールに適合しています。

また、不良債権処理を進めてまいりましたが、資産査定による要注意先から破綻懸念先への下方修正先が発生したことにより、不良債権比率は0.74%となり、前年度対比0.19ポイントの上昇となりました。

## 2. 農業振興活動（2025年度）

### 秋冬レタスの出荷査定会



— 小櫃園芸組合洋菜部 —

2月4日小櫃園芸部会洋菜部は、小櫃支店でレタス類出荷査定会を開き、部員、市場関係者、君津農業事務所、JA職員など22人が参加しました。参加者は現品を確認し、出荷規格や今後の管理、出荷時の注意点などについて申し合わせました。

### 令和6年産優良種子生産者表彰



— 品質・技術の向上へ向け —

3月3日令和6年産JAきみつ優良種子生産者表彰を本店で行いました。

管内で生産されている「ふさおとめ」「ふさこがね」「コシヒカリ」の水稻種子65点が出品され、種子の調整前に実施するDNA検査・ほ場審査など栽培にかかる全ての検査や審査に全量合格し、かつ最も製品歩留りが高かった生産者を表彰しました。

### 新茶まつり（ゆりの里）



— 地元産の新茶をどうぞ —

5月24日袖ヶ浦市農畜産物直売所ゆりの里は、袖ヶ浦市産の新茶を楽しんでもらおうと「新茶まつり」を開きました。当日は、市内にある武井製茶工場が対面販売を実施。新茶を特別価格で販売し、人気を集めました。また、同工場の茶葉を使用し八天堂きさらづが製造した和菓子「袖ヶ浦御茶乃味」も好評でした。

## 学校給食米現地検討会

— 君津稲作部会 —



6月25日君津稲作部会は、令和7年産「学校給食米圃場現地検討会」を開き、部会員、同市の環境経済部・学校給食担当職員・栄養士、君津農業事務所、農薬メーカー、JA職員が参加しました。当日は、君津市内の学校給食米栽培ほ場3か所を巡回し、稲の生育状況や今後の栽培管理などについて検討しました。

## 農業機械大展示会

— 平川経済センターにて —

7月5日農業機械大展示会を平川経済センターで開き、多くの来場者で賑わいました。会場に、各メーカーのトラクターやコンバイン、管理機など数多く展示。軽トラック、農業資金、JA共済VR体験コーナーなども設けました。来場者は農機統括センター・整備工場の職員やメーカー担当者から機械の操作方法などについて説明を受けていました。



## 味楽団おびつ店リニューアル

— 利便性向上へリニューアル —



7月19日味楽団おびつ店が店舗改装を行い、リニューアルオープンイベントを開きました。当日は江澤武夫組合長をはじめ常勤役員らが来場者をお出迎えしました。同店は、店内の床を修繕し、商品棚やレジのレイアウトを変更。通路を確保し買い回り中の利便性を向上させ、来場者がゆっくり新鮮な農畜産物を選べるようになりました。

## デイワーク説明会

— 1日農業バイトアプリ —

10月17日経済部は周南支店で、働き手を探している組合員向けに「デイワーク」の説明会を開き19人が参加しました。当日は、同アプリの運営会社Kamakura Industries(株)の社員が講師を務めアプリや求人の方について説明しました。



## 農畜産物トップセールス

— がすてなーにガスの科学館 —



11月8日袖ヶ浦市農畜産物直売所ゆりの里は袖ヶ浦市と、東京・豊洲がすてなーにガスの科学館で行われた「特別区全国連携プロジェクト」に参加しました。当日は、袖ヶ浦市の粕谷智浩市長、JAの江澤武夫組合長が新米や葉つきダイコンをPRしました。

## JA きみつ農業まつり

— 袖ヶ浦市役所にて —



12月6日農業まつりを盛大に開きました。農業まつりは、JA管内の農業振興と収穫の喜びを消費者とともに分かち合い、ふれあいを通じて相互の連携と農業協同組合運動の主旨を理解いただき、明日の営農と暮らしを守ることを目的として袖ヶ浦市役所で開催しました。農畜産物品評会や大抽選会、米消費拡大、演芸など大規模なおまつりとなりました。

### 3. 地域貢献情報

#### I 地域貢献に関する取組み

##### ○協同組織の特性

当JAは、君津市、袖ヶ浦市、富津市を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織です。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当JAは、地域の一員として、組合員及び地域住民の信頼と支持を得ながら、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めるとともに、事業基盤の維持・拡大に取り組み、新しい時代に対応した経営・意識・事業の改革に取り組んでいます。

組合員数 21,753人 出資金 3,991百万円  
(うちその他の出資金) (1,160百万円)

#### 1. 地域からの資金調達の状況

- (1)貯金積金残高 196,727百万円(うち定期積金 1,706百万円)  
(2)貯金商品 ・高齢者優遇定期貯金「寿800」、同定期積金「長寿300」  
・退職者優遇定期貯金・共済金定期貯金  
・知人囲会定期積金・子育て支援金利上乘せプレミアム定期積金

#### 2. 地域への資金供給の状況

- (1)貸出金残高 25,432百万円(組合員等)  
4,132百万円(地方公共団体等)  
5,197百万円(その他)
- (2)制度融資取扱い状況
- ① 農業近代化資金 (資金の概要)設備投資等に必要な資金を融資する農協等民間金融機関が融資する中期の資金で県ならびに市が利子補給する資金 859百万円(162件)
- ② 農業経営基盤強化資金 (資金の概要)農業経営基盤強化促進法の経営改善計画等の認定を受けた認定農業者に対して、計画に則した規模拡大、その他の経営展開を図るのに必要な資金 29百万円(4件)
- ③ 青年等就農資金 (資金の概要)新たに農業経営を営もうとする青年等(認定新規就農者)に対し農業経営を開始するために必要な資金を融資する国・県等の資金を原資とする無利子資金 198百万円(23件)
- ④ セーフティネット資金 (資金の概要)災害や経営環境の変化等の経営者の責めに帰さない理由により一時的に経営状況が悪化した農業者に対し経営の維持安定に必要な資金 78百万円(7件)
- ⑤ 農業経営負担軽減支援資金 (資金の概要)農林公庫資金、農業近代化資金、農業改良資金等の制度資金を借り換えるための民間原資の資金で都道府県(国からの補助金を含む)が利子補給する資金 8百万円(1件)

(3)融資商品

- ・住宅資金 ・生活資金 ・教育資金 ・農外事業資金
- ・賃貸住宅建設資金 ・水洗トイレ資金

3. 文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

- ・税務相談会開催 ・法律相談会開催
- ・年金相談会開催 ・集団健康診断及び健康相談
- ・中学生、高校生職場体験協力(インターンシップ)
- ・日本赤十字社の献血への会場提供および参加

文化・教育に貢献

(農林漁業職業イベント×金融教育)



社会貢献活動

(学校給食用の新米贈呈式)



地域ふれあい活動

(周南支店トラック市)



交通安全教育に協力

(自転車交通安全教育)



(2)利用者ネットワーク化への取り組み

- ・知人囲会（会員数 212 人）  
（会員資格） 定期積金(契約期間 3 年、契約額 48 万円以上)の契約者で入会を希望する方  
（活動内容） グルメツアー、観劇ツアー等の親睦
- ・年金友の会（会員数 13,396 人）  
（会員資格） 公的年金の受給口座を当JAに指定している方  
（活動内容） 親睦旅行 グラウンドゴルフ大会

(3)情報提供活動

- ・広報誌「みずき」年 12 回発行
- ・ホームページ URL <http://www.ja-kimitu.or.jp>
- ・日本農業新聞普及活動

(4)店舗体制

本店 1 支店 9 経済センター 4 購買店 2 介護センター 1  
農機統括センター 1 農機整備工場 1 給油所 4  
直売所 3 葬祭センター 1 葬祭場 2 自動車整備工場 2  
不動産センター 1 共済代理店 27